

平成16年10月新潟県中越地震 道路の被災と復旧

- 被災地の復旧・復興に道路が重要な役割 -

平成16年12月1日

国土交通省

北陸地方整備局道路部

資料に用いている市町村名及び市町村数は、合併前のもので記載しています。

(11月1日より、魚沼市[旧 堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村]及び南魚沼市[旧 六日町、大和町]が設置)

平成16年新潟県中越地震のダイジェスト

10月23日(土)

・【震度 7】 マグニチュード6.8の「新潟県中越地震」発生(17:56)

- ・高速道路では、北陸自動車道・関越自動車道の中越地区で全面通行止め
- ・国道8号、17号、116号の直轄国道12箇所でも全面通行止め
- ・県管理の国道・県道の最大222箇所でも全面通行止め、市町村道は2,200箇所被災
- ・上越新幹線が脱線、全面運休



◀ 国道17号 川口町天納
道路崩壊
(H16.10.24 撮影)



▶ 関越道(堀之内IC～越後川口IC)
(写真提供:日本道路公団)

10月24日(日)

- ・北側国土交通大臣、国道17号川口町天納地先等の被災箇所の視察
- ・高速道路では、被災19時間後に、緊急応急復旧により全線に渡って緊急車両の通行を確保(13:00)
- ・新潟～羽田間の「臨時航空便」運行開始



◀ 国道17号川口町天納
北側国土交通大臣が崩壊箇所
を視察 (H16.10.24 撮影)



▶ 関越道を走る
災害支援車両

10月25日(月)

- ・直轄国道では、被災2日後迄に、国道17号和南津トンネルを除いて被災地域の車両及び緊急車両の通行を確保

▶ 国道17号川口町天納
応急復旧完了し緊急輸送路確保
(H16.10.25 撮影)



10月31日(日)

- ・新潟県の要請に基づき、東北・関東地方整備局の応援をもらい、市町村道の被災状況調査開始

▶ 被災状況を調査中の応援職員
(広神村 H16.11.01撮影)



11月2日(火)

- ・直轄国道で残っていた国道17号和南津トンネル(川口町)を被災10日後に片側交互により一般車両の通行を確保(16:20)

仮復旧が完了し、一般車交通のルートが確保された
(撮影H16.11.2)



11月5日(金)

- ・高速道路で残っていた関越自動車道(長岡～小出間)を被災13日後に一部片側一車線により一般車両の通行を確保(16:00)

復旧後の関越自動車道(堀之内～越後川口)11月7日撮影
資料提供:日本道路公団



11月11日(木)

- ・国道291号の権限代行による災害復旧事業の工事開始告示(官報告示)及び復旧工事着手
- ・北陸地方整備局内に「中越地震復旧対策室」を設置

国道291号復旧工事に着手
(撮影 山古志村東竹沢H16.11.13)



11月15日(月)

- ・市町村道を含む地震による道路の被災額は約1,370億円

11月18日(木)

- ・直轄国道で残っていた国道17号川口町牛ヶ島地先の片側交互通行を解除し、片側交互が残っているのは国道17号川口町「和南津トンネル」のみ

国道17号 牛ヶ島の片側交互通行解除
(撮影 川口町牛ヶ島H16.11.18)



11月24日(水)

- ・直轄国道及び高速道路の通行止め箇所は無し
- ・新潟県の管理する国道・県道では87箇所が依然全面通行止め

高速道路は被災から19時間後までに 緊急車両の通行を確保

- ◆北陸自動車道、関越自動車道は被災から19時間後までの10月24日13:00には、片側1車線ながらも緊急車両を通行可能とし、被災地への緊急救援物資の輸送を確保しました。
- ◆なお、緊急救援物資の運搬車両については通行料金を無料としました。
- ◆これと並行して復旧作業等を進め、被災13日後の11月5日までに全線で一般車両の通行を確保しました。
- ◆11月10日現在までに、約8万台の緊急車両が通行しました。



被災直後の関越道(堀之内IC～越後川口IC)
(写真提供:日本道路公団)



関越道を走る災害支援車両

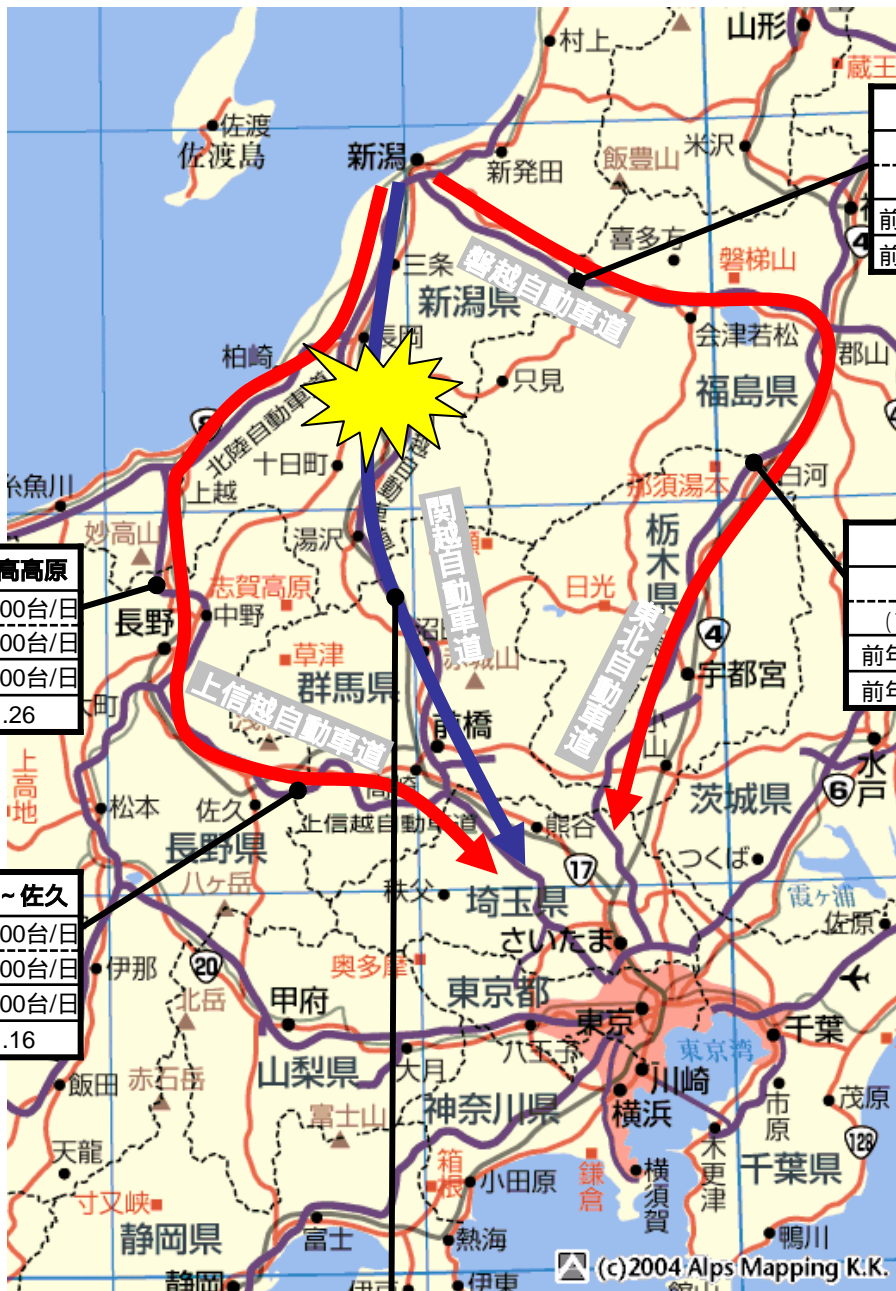


復旧後の関越自動車道(堀之内～越後川口)11月7日撮影(写真提供:日本道路公団)



高速道路ネットワークによる迂回路ルート確保

- ◆ 関越道通行止めに伴い、磐越道、上信越道がネットワーク効果発揮
- ◆ 磐越道：約5割、上信越道：約3割交通量増加。緊急物資輸送等を支援



磐越道 西会津～津川	
交通量	9,600台/日
(前年同月)	6,400台/日
前年同月との差	3,200台/日
前年同月との比	1.50

東北道 那須～白川	
交通量	30,100台/日
(前年同月)	27,500台/日
前年同月との差	2,600台/日
前年同月との比	1.09

上信越道 信濃町～妙高高原	
交通量	13,000台/日
(前年同月)	10,300台/日
前年同月との差	2,700台/日
前年同月との比	1.26

上信越道 碓氷軽井沢～佐久	
交通量	21,900台/日
(前年同月)	18,800台/日
前年同月との差	3,100台/日
前年同月との比	1.16

関越道 沼田～月夜野	
交通量	7,500台/日
(前年同月)	18,400台/日
前年同月との差	-10,900台/日
前年同月との比	0.41

出典：平成16年10月28日JH発表資料

新潟～東京間の旅客ルート確保

◆一日10万人が行き交う新潟～東京。
旅客の動脈、上越新幹線が不通になったことから、高速バスや臨時の航空機が迂回ルートとなりました。



脱線した上越新幹線 (H16.11.1撮影)



越後湯沢駅、上越新幹線の不通を伝える案内
(H16.10.31撮影)



首都圏へ東北新幹線経由でアクセスする高速バス
「新幹線リレー号」を待つ人達 (新潟駅前)



10月30日から、緊急交通路 (通行止区間) にも運行が
許可された高速バス (1日12往復が運行)



10月24日から一日あたり約3,100人が
羽田空港への臨時便を利用している (新潟空港)



利用客の増加に伴いジャンボ機も就航 (10.25撮影)

直轄国道は、被災2日後までに 和南津トンネルを除き、一般車両の通行を確保

◆震災後、10日後の11月2日には和南津トンネルが仮復旧し、初めて東京から新潟までの直轄国道による一般交通の最短ルートが確保されました。



崩落したコンクリート (H16.10.24 撮影)



和南津トンネル技術検討委員会による調査



10月26日 応急復旧工事着手



アーチ型H鋼などで、補強しました



仮復旧が完了し、一般車交通のルートが確保された
(撮影H16.11.2)

新潟県中越地震道路情報を
携帯電話で提供
10月31日～
(<http://chokoku.jp/i/>)



◆国道17号 和南津トンネル位置図



和南津トンネル定点カメラによる監視 (16.10.26撮影)



道路情報版で規制情報を提供

致命傷にいたらなかった橋脚被害

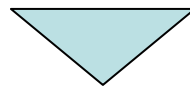
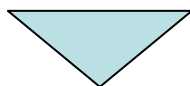
◆国道17号の小千谷大橋などの橋脚に被害があったものの、耐震対策（補強）が進んでいたため、致命傷にならず、迅速な復旧ができました。



国道17号(小千谷大橋)橋脚の被災状況(H16.10.25撮影)



国道8号(新組高架橋)橋脚の被災状況(H16.10.25撮影)



国道17号(小千谷大橋)橋脚の復旧(H16.10.31撮影)



国道8号(新組高架橋)橋脚の復旧(H16.10.29撮影)

県管理道路の被災と復旧支援

- ◆ 県が管理する国道、県道では、222箇所が通行止め。
- ◆ 甚大な被害をうけた県管理道路等の早期復旧にむけ、国土交通省では、被災2日後から橋梁やトンネル等の専門家を派遣し、技術的な支援を実施しました。
- ◆ 特に被害が大きい国道291号については、災害復旧を直轄権限代行にて施行。



崩壊した一般国道351号(長岡市宮路)



大規模に被災した国道291号



土木研究所による道路斜面調査
【県道 天納川口線 / 川口町牛ヶ島】(H16.10.27撮影)
写真提供: 独立行政法人土木研究所



国土技術政策総合研究所及び土木研究所による橋梁下部調査【国道117号 / 山辺橋】(H16.10.26撮影)
写真提供: 独立行政法人土木研究所

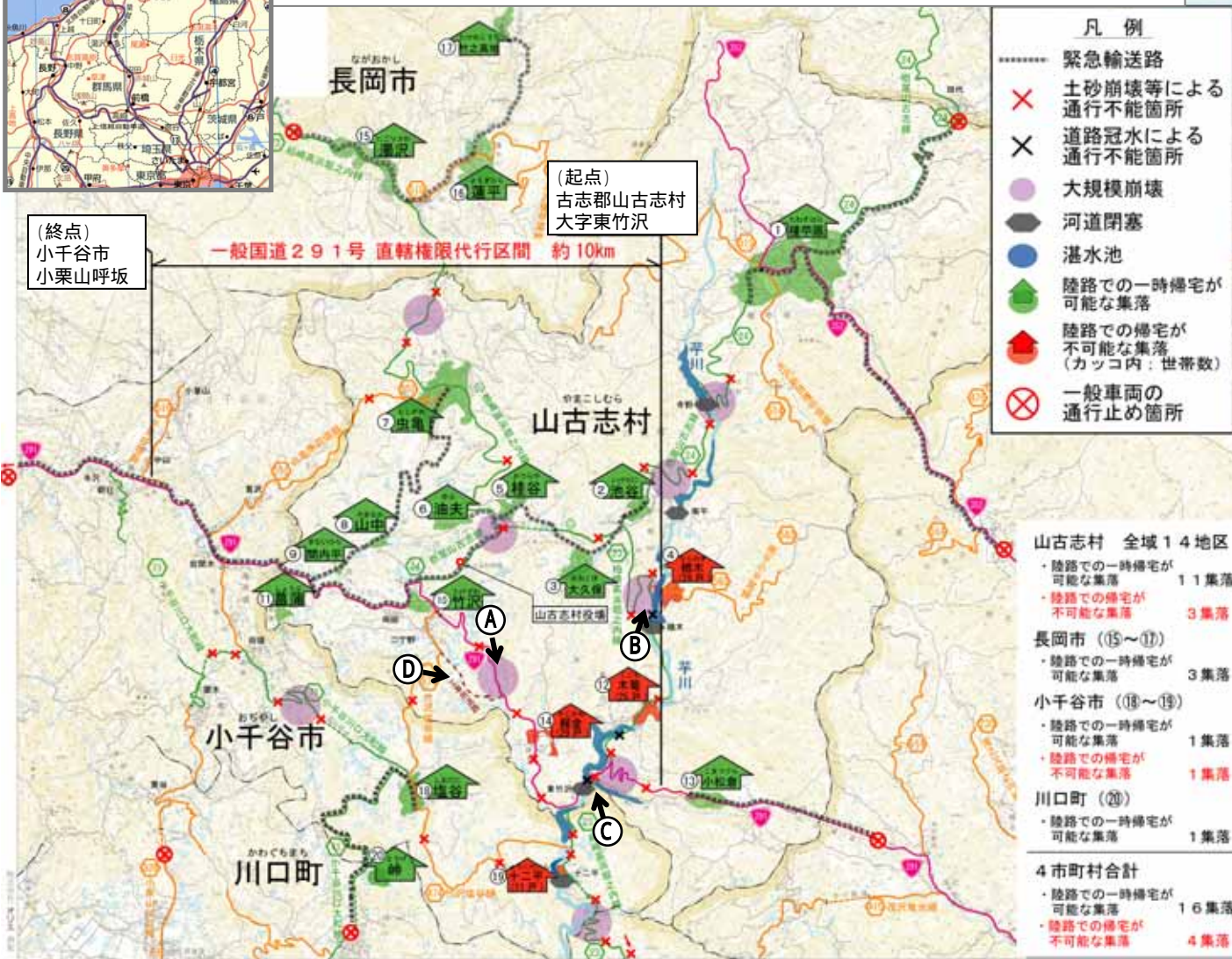
国土交通省が権限代行により国道291号の復旧工事に着手

- ◆被災の激しい山古志村、小千谷市では、いまだ多くの集落が孤立しており、復旧・復興に必要な幹線道路である国道291号の災害復旧が緊急の課題です。
- ◆このため国土交通省では、泉田新潟県知事の要請を受け、県管理の国道291号の災害復旧について、直轄権限代行により実施することとし工事に着手しました。



山古志村

山古志村を中心とする集落の孤立状況図





寸断した国道291号と芋川の河道閉塞
山古志村竹沢地内(H16.11.1撮影)



大規模斜面崩落により通行不能
主要地方道柏崎高浜堀之内線
山古志村櫓木地内(H16.10.24撮影)



河道閉塞により水没した国道291号
山古志村東竹沢地内(H16.11.5撮影)



仮道路設置に着手
山古志村竹沢地内(H16.11.11撮影)



山古志村長が国道291号復旧工事を視察
(H16.11.24撮影)



市町村道緊急調査に延べ550名を派遣

◆市町村道については、災害箇所も極めて多く、市町村による調査に大変時間がかかったため、新潟県からの要請で、早期に状況を把握すべく北陸地方整備局の職員等を派遣し、市町村の調査を支援しました。(十日町市、小千谷市、栃尾市、川口町、広神村)



小千谷市内(H16.11.01撮影)



広神村内(H16.11.01撮影)



十日町市内(H16.11.01撮影)



調査結果を十日町市長に提出(H16.11.05撮影)

◆市町村道被災調査の結果

市町村名	調査箇所数
十日町市	217
小千谷市	937
栃尾市	129
川口町	197
広神村	70
計	1,550

(調査結果による被災総額約40億円)

なお、調査結果による被災総額は国土交通省職員等が今回調査した箇所の概算被災総額であり、市町村独自に調査した箇所及び調査不能箇所の被災額は含まれておりません。

市町村道やライフラインの被災と復旧支援

- ◆生活にもっとも密着した市町村道は、各住宅への最終的なアクセスを確保するばかりではなく、電気・ガス・上下水道・光ファイバーといったライフラインの貴重な収容空間です。
このため、地域の復興には市町村道の復旧が最重要課題です。
- ◆国土交通省では、6つの地方整備局から職員を現地に派遣し、災害復旧支援を実施しています。



越路町塚山 大きく傾いた電柱
(H16.10.25 撮影)



川口町 突き出たマンホール、下水道も寸断
(H16.10.27 撮影)



小千谷市木津 下水道の陥没により被災した道路
(H16.10.25 撮影)



水道管が切断
(H16.10.25 撮影)

◆ライフラインの復旧状況の推移

地震直後(10/24)

3日後(10/26)

1週間後(10/30)



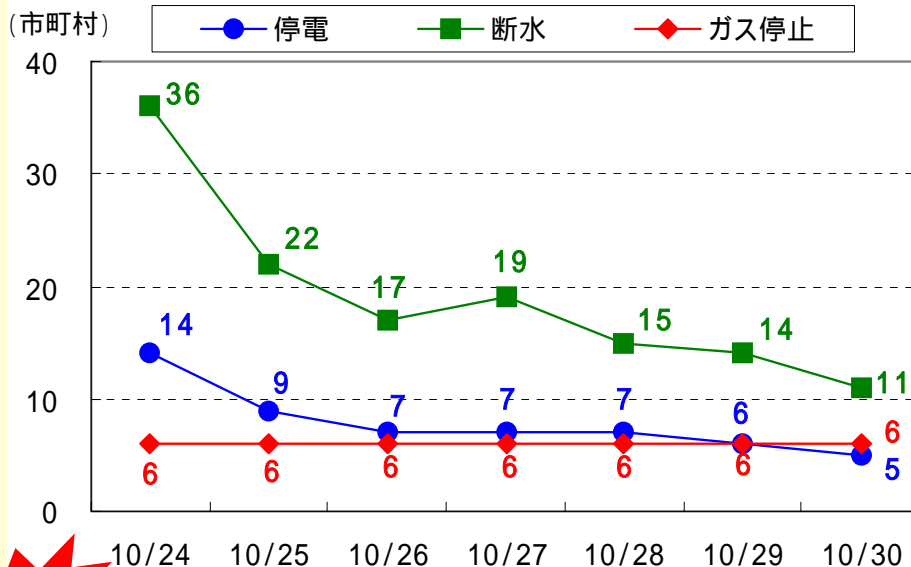
[24日調査] 電気:22時
水道:12時 ガス:2時

[26日調査] 電気:21時
水道:20時 ガス:14時

[30日調査] 電気:16時
水道:17時 ガス:9時

■ 停電 + 断水 + ガス停止
 ■ 停電 + 断水
 ■ 断水 + ガス停止
 ■ 断水
 ■ ガス停止
■ 停電
 山古志村はガス・水道は不明(調査不可能)のため停電のみとしている。

全面通行止めの箇所数は高速道、国道、県道の総数。うち括弧内は直轄国道
高速道路については通行止区間内のIC間数を一箇所として算出



**23日
地震発生**

3日後

1週間後

出典:新潟県災害対策本部 平成16年新潟県中越地震によるライフライン情報(電気、ガス、水道)

冬を向かえ乗り切るために ～道路の雪対策～

- ◆被災地のほとんどが豪雪地帯です。道路の復旧が進んでも冬期の雪対策が出来なければ、新たな孤立集落、避難住民が発生する恐れがあります。
- ◆被災地の平年の積雪は長岡市で約1m、小千谷市で約2m、山古志村で約3m。避難している間にも屋根雪を下ろす必要があります。このため、冬期においても集落へのアクセスを確保する課題があります。



消雪パイプや井戸の被災により、冬期の雪対策が課題(長岡市)



路面の雪を融かす消雪パイプ



消雪パイプのない道路

冬を向かえ乗り切るために ～生活の雪対策～



中越地方の雪おろしの風景



一斉雪おろしで山積みになった雪(十日町市)



雪崩で埋まった道路(十日町市)



国道291号(小千谷市)



冬の祭り 無形文化財「牛の角付き」(山古志村)

国土交通省による支援

- ◆一刻も早い被災地の復興を支援するため、国土交通省は様々な支援を実施しています。
- ◆具体的には、災害対策車の派遣や、市町村の災害復旧に係る工法検討の支援、下水道、住宅・宅地等の専門家による調査の支援も実施しています。



被災建築物の危険度を判定



下水道の被災状況把握のための調査(出雲崎町)

◆早期の復旧を図るための対応・支援の状況(11月24日現在)

直轄による対応	時期
中越地震復旧対策室の設置(準備室は11月5日)	11月11日設置
国道291号(山古志村地内)の直轄権限代行による災害復旧	11月4日知事に決定通知(官報告示:11月11日)
直轄砂防災害関連緊急事業(山古志村地内)	11月5日採択

支援内容	期間	市町村数	延べ人数
災害対策機械(照明車等)の派遣	10月25日～	2	-
住宅の応急危険度判定の支援	10月25日～11月10日	15	3,821
衛星携帯電話の提供	10月26日～	1	-
土砂災害危険箇所等の点検	10月27～31日	17	500
被災宅地危険度判定の支援	10月27～11月5日	14	172
下水道施設の被災状況調査	10月28～11月5日	16	1,567
市町村道の道路災害復旧支援	10月30～11月3日	5	550
災害復旧事業に係る作業支援	11月8日～	11	1,167
合計		-	7,777

災害対応の拠点基地として道の駅が活躍

◆各「道の駅」は情報発信、災害支援、住民への被災対応等、防災・災害対応基地としての役割も果たしました。



被災により道の駅に避難【道の駅「越後川口」】



道の駅の駐車場に建設された仮設住宅
【道の駅「クロス10十日町」】



避難された方に無料で温泉施設を開放
【道の駅「ちぢみの里おぢや」】



名古屋市からの給水車の基地【道の駅「クロス10十日町」】



被災地の情報を見守る人たち
【道の駅「豊栄」】



刻々変化する道路情報を資料で提供
【道の駅「豊栄」】

ボランティア活動による支援

◆全国から集まったボランティアの方々は、11月16日現在、延べ約4万人を上回りました。現在も約1千名の方々が、避難所等でのボランティア活動を展開しています。



支援物資搬出に務めるボランティア
(撮影 川口町役場 H16.11.02)



ゴミ集積場でのボランティア活動
(撮影 小千谷市総合体育館 H16.11.02)



バイクによる物資運搬 (撮影 川口町 H16.10.30)



大釜で炊き出し
(撮影 小千谷小学校 H16.10.30)



NPO(「女性みちみらい上越」)によるボランティア活動
(撮影 小国町ひまわり保育園H16.10.30)



入浴介助のボランティア
(撮影 小千谷市総合体育館H16.11.02)

道路利用者への情報提供に努めました

- ◆「被災地へボランティアに行きたいが何処が通れるのか？」
災害時はこうした情報が乏しく、道路利用者は混乱します。
国土交通省では、いたる所で被災したため、道路ネットワークのうち
どこが通行可能か等の情報提供に努めました。

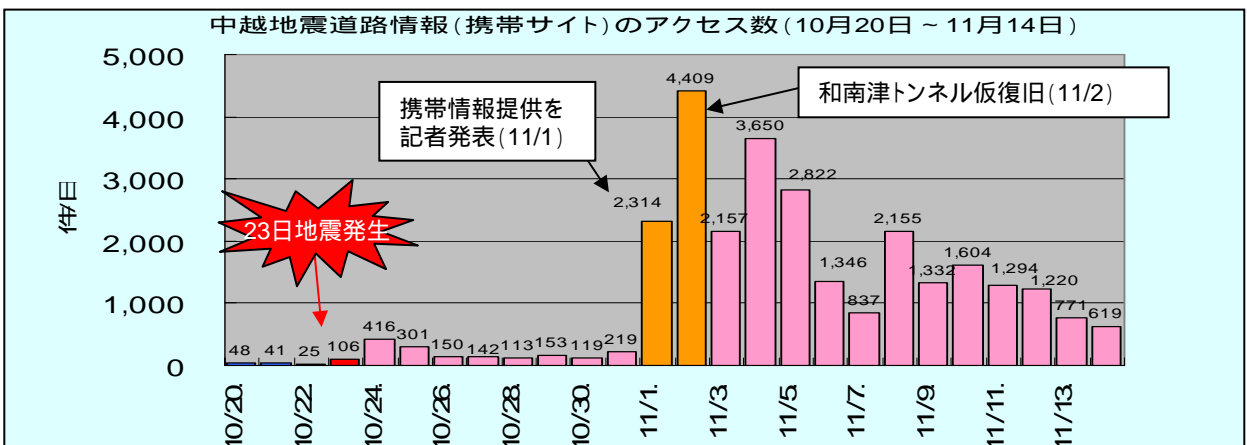
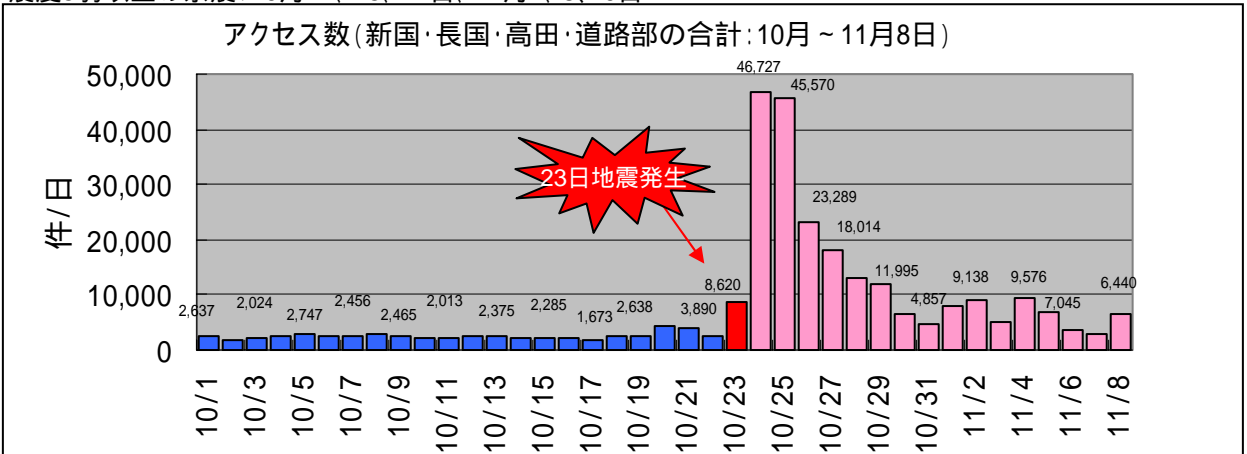


新潟県中越地震道路情報を
携帯電話で提供
10月31日～
(<http://chokoku.jp/i/>)



地震災害情報の提供開始
10月24日～

震度5弱以上の余震: 10月24、25、27日、11月4、8、10日



被害額

- ◆ 11月10日現在の中越地震による公共土木施設の被害額は、約2,206億円
- ◆ 直轄分は約298億円
- ◆ 県・市町村分は1,908億円
公共土木施設のうち、道路・橋梁の被害額は、1,465億円

公共土木施設の被災状況

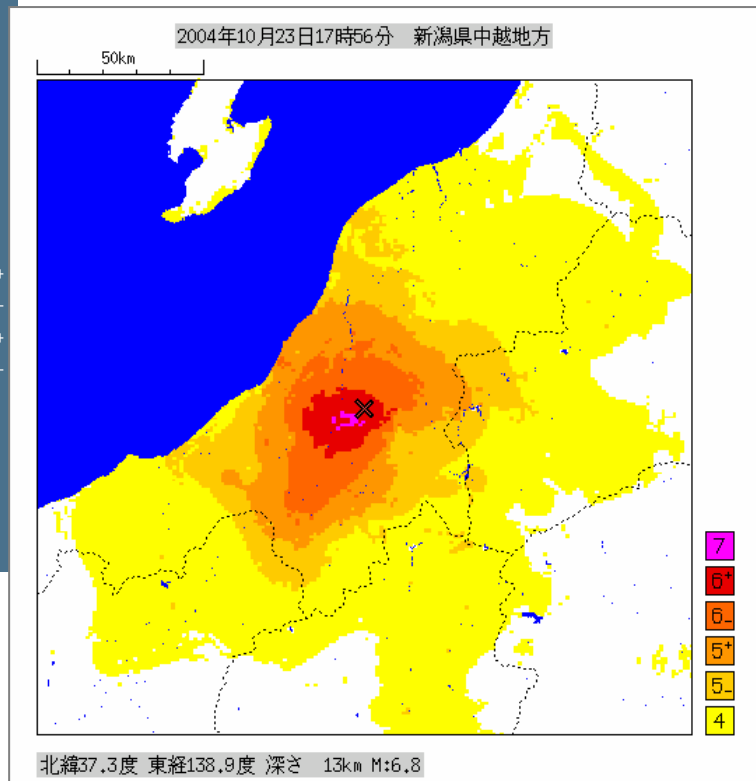
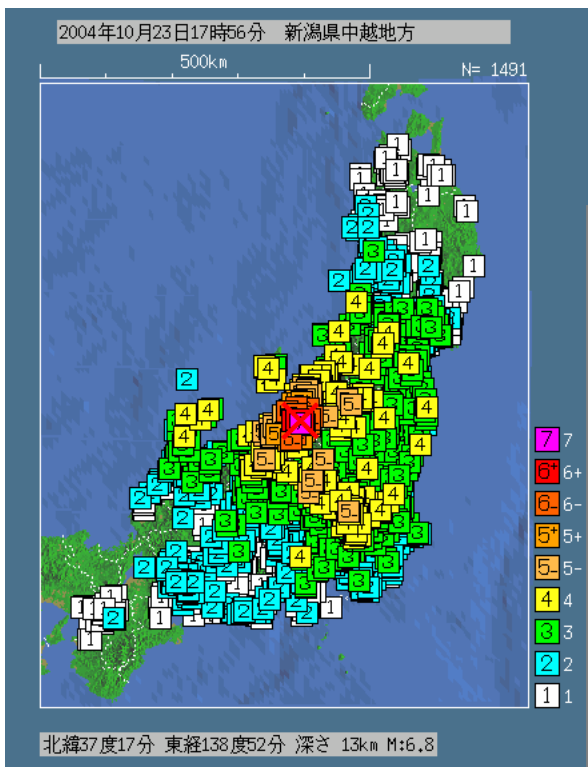
施設区分	被害額			
	直轄	県	市町村	計
道路・橋梁	(約60箇所) 172億円	(約1,100箇所) 727億円	(約2,400箇所) 566億円	(約3600箇所) 1,465億円
河川	125億円	102億円	49億円	276億円
砂防・急傾斜	-	87億円	-	87億円
公園	0.6億円	1億円	9億円	10.6億円
下水	-	80億円	284億円	364億円
公営住宅	-	0.5億円	2.7億円	3.2億円
計	298億円	997億円	911億円	2,206億円

「道路・橋梁」の被害額には、高速道路分を含んでいない。
また、国道291号の直轄権限代行分(19箇所、約110億円)については、「直轄」に含む。

平成16年新潟県地震の概況・余震発生状況

◆平成16年10月23日(土)17時56分頃に新潟県中越地方の深さ約13kmでマグニチュード6.8の地震が発生し、震度計による観測が始まって以来初めて最大震度7を観測しました。
 今回の地震に対し、気象庁は「平成16年新潟県中越地震」と命名しました。

・新潟県中越地震、震度分布図(最大震度7 (M6.8))



気象庁発表資料(暫定値)

平成16年新潟県地震の概況・余震発生状況

◆震度5以上の余震は11月15日迄に17回発生しました。

・地震の状況(震度5以上)

震源時		最大震度	震源深さ (km)	マグニチュード
月日(曜日)	時間			
10月23日(土)	17時56分	7	13	6.8
	17時59分	5強	16	5.3
	18時03分	5強	9	6.3
	18時07分	5強	15	5.7
	18時11分	6強	12	6.0
	18時34分	6強	14	6.5
	18時36分	5弱	7	5.1
	18時57分	5強	8	5.3
	19時36分	5弱	11	5.3
	19時45分	6弱	12	5.7
	19時48分	5弱	14	4.4
10月24日(日)	14時21分	5強	11	5.0
10月25日(月)	0時28分	5弱	10	5.3
	6時04分	5強	15	5.8
10月27日(水)	10時40分	6弱	12	6.1
11月4日(木)	8時57分	5強	18	5.2
11月8日(月)	11時15分	5強	ごく浅い	5.9
11月10日(水)	3時43分	5弱	5	5.3

気象庁発表資料(暫定値)

生活を支える道路の被災と復旧

◆災害により高速道路、国道、県道では200箇所を越える箇所で行き止まりが発生しましたが、幹線道路を中心に復旧を進め緊急物資や人的応援のためのルートを確認しました。

10月24日(日) 18:00

24時間後



全面通行止め:118箇所
(うち直轄国道:10箇所)

全面通行止め箇所数は高速道路、国道、県道の総数。うち括弧内は直轄国道。

高速道路については通行止区間内のIC間数を1箇所として算出

10月26日(火) 18:00

3日後



全面通行止め:125箇所
(うち直轄国道:6箇所)

- 直轄国道の全面通行止区間
- " の片側通行止区間
- 高速道路の通行止区間
- " の片側交互通行規制区間
- 補助国道(県管理区間)の通行止箇所
- 県道・一般道の通行止箇所
- 直轄国道(直轄指定区間)
- 補助国道(県管理区間)
- 県道・一般道
- 高速道路

緊急車両の通行確保を

～被災地をつなぐ道路は国道17号だった～

- ◆ 災害発生直後は緊急物資や人的応援のためのルート確保が重要。
- ◆ 新潟市や東京から被災地へのルートは国道8号と17号。
- ◆ 通行止となった17箇所は、被災2日後の10月25日(月)迄に一部を除き概ね復旧し、物資や応援部隊を乗せた緊急車両の通行を確保しました。

10月30日(土) 18:00

7日後



全面通行止め: 116箇所
(うち直轄国道: 2箇所)

11月6日(土) 18:00

14日後



全面通行止め: 103箇所
(うち直轄国道: 0箇所)

- 直轄国道の全面通行止区間
- " の片側通行止区間
- 高速道路の通行止区間
- " の片側交互通行規制区間
- 補助国道(県管理区間)の通行止箇所
- 県道・一般道の通行止箇所
- 直轄国道(直轄指定区間)
- 補助国道(県管理区間)
- 県道・一般道
- 高速道路

ドキュメント(10月23日からの道路を中心とした動き)



国道17号(小千谷市)
着の身着のままでの夜明けのパトロール (H16.10.24 撮影)



国道17号川口町和南津トンネル コンクリート剥落
(H16.10.24 撮影)



国道17号川口町和南津トンネル 通行止め状況



国道17号(川口町天納)
北側国土交通大臣が崩壊箇所を視察 (H16.10.24 撮影)



国道17号川口町天納
応急復旧完了し緊急輸送路確保 (H16.10.25 撮影)



国道17号川口町天納
地権者の協力により迂回路完了 (H16.11.2 撮影)

ドキュメント(10月23日(土)～10月25日(月))

10月23日(土) 曇り

- 17:56 新潟県中越地方で震度7、M6.8の地震発生
- 17:59 震度5強の余震発生
- 18:00 北陸地方整備局 災害対策本部設置(非常体制)
(道路関係職員約150名が非常参集)
- 18:03 震度5強の余震発生
- 18:07 震度5強の余震発生
- 18:10 直轄国道、異常時(地震)巡回開始
- 18:11 震度6弱の余震発生
- 18:34 震度6強の余震発生
- 18:36 震度5弱の余震発生
- 18:45 国道17号川口町天納地内、通行止め(道路崩壊)
- 18:57 震度5強の余震発生
- 19:00 国道17号川口町和南津トンネル、通行止め(トンネル覆工一部崩落)
- 19:00 地震災害(道路)第一報記者発表
- 19:36 震度5弱の余震発生
- 19:45 震度6弱の余震発生
- 19:48 震度5弱の余震発生
- 20:05 国道8号見附市～中之島町間、通行止め(路面隆起・段差等)
- 20:20 国道17号長岡市妙見町～小千谷市三仏生間、通行止め(路面陥没等)
- 21:10 東北地方整備局へリ「みちのく号」で、道路被災状況の調査開始
- - 「道の相談室」24時間対応開始

10月24日(日) 晴れ

- 07:50 政府が非常災害対策本部を設置
- 09:00 気象庁、今回の地震を「平成16年新潟県中越地震」と命名
- 14:21 震度5強の余震発生
 - - 村田防災担当大臣を団長とする政府調査団、被災箇所視察
 - - 北側国土交通大臣、国道17号川口町天納地内の道路崩壊箇所等の視察
 - - 全日空・日本航空、新潟～羽田臨時便の運行開始

10月25日(月) 曇りのち小雨

- 00:28 震度5弱の余震発生
- 01:00 国道17号川口町天納地内、仮迂回路を設置し、緊急車両等通行可
- 06:04 震度5強の余震発生
- 09:30 国道17号川口町牛ヶ島地内、通行止め(法面崩壊)
- 10:30 国道17号川口町前島地内、通行止め(地滑りの恐れ)緊急車両等通行可
- 17:00 国道17号川口町牛ヶ島地内、応急復旧を完了し、緊急車両等通行可
- 18:30 国道17号長岡市妙見町～小千谷市三仏生間、応急復旧を完了し、緊急車両等通行可

ドキュメント(10月23日からの道路を中心とした動き)



停電の避難所に派遣した国土交通省の照明車
(H16.10.25 撮影)



新潟県知事から被災状況について説明を受ける総理大臣
(H16.10.29 撮影)



国道17号川口町牛ヶ島
10月29日一般車車両開放 (H16.10.31 撮影)



市町村道の調査を開始 (H16.10.31 撮影)



国道17号専用の携帯サイトサービス開始を伝える案内
(H16.10.31 撮影)

ドキュメント(10月25日(月)～10月31日(日))

10月25日(月)曇りのち小雨

- - 山古志村、苦渋の全村民避難
- - 小千谷市の要請に基づき、関東地方整備局から照明車5台を派遣
- - 本省、国土技術政策総合研究所及び(独)土木研究所の専門家により、橋梁・トンネル等の調査開始
- - 「災害時における北陸地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定書」に基づき、一般国道8、17、116号の被災調査について、(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部長へ出動の要請

10月26日(火)曇りのち小雨

- 16:15 国道17号和南津トンネル応急復旧工事着手
- - 小泉内閣総理大臣、被災箇所視察
 - - 避難者10万人を越す

10月27日(水)曇り

- 10:40 震度6弱の余震発生
11:02 国道8号長岡市宮本地内、通行止め(路面陥没)

10月28日(木)晴れ

- 09:00 国道8号長岡市宮本地地内、応急復旧を完了し、通行止め解除
- - 「平成16年新潟県中越地震(第一報)」を作成・配布

10月29日(金)晴れ

- 10:00 川口町の国道17号～山古志村役場迄の道路が応急復旧され、4日ぶり陸路で一時帰村
20:00 一般車両の通行止めがなされていた国道17号小千谷市高梨～川口町野田地内、応急復旧を完了し、一般車両解放
- - 岩井国土交通副大臣、被災箇所視察

10月30日(土)小雨

- - 関越道を利用した高速バス運行再開(但し、緊急車両扱い)
- - 岩井国土交通副大臣、被災箇所視察
- - 新潟県からの支援要請に基づき、北陸地方整備局に「新潟県中越地震による市町村道の道路災害の復旧支援本部」を設置する

10月31日(日)曇り

- 11:00 市町村道の道路災害の復旧支援本部の現地本部を南魚沼郡湯沢町に設置し現地本部にて東北・関東地方整備局からの応援も含め、総勢123名が出発式を行い、市町村道の被災状況調査に向け出発
- - 長岡国道事務所、国道17号専用の携帯情報サイトサービス開始

ドキュメント(10月23日からの道路を中心とした動き)



国道17号川口町和南津トンネル
11月2日 和南津トンネルの応急復旧で国道17号の通行止め解除



11月5日 一般車両の通行が可能となった関越自動車道
(堀之内～越後川口 11月7日撮影) 写真提供:日本道路公団



山古志村、瓦礫と化した国道291号の被災状況を調査する復旧対策室の職員(H16.11.6撮影)

ドキュメント(11月1日(月)～11月8日(月))

11月1日(月)曇り

- - 「衆議院・参議院災害対策特別委員会」、被災箇所視察
- - 十日町市が避難勧告全域解除

11月2日(火)曇り

- 16:20 国道17号和南津トンネル片側交互通行で開通
(全面通行止めは、地震発生後10日後に全て解除)
- - 新潟県知事から国土交通大臣に、国道291号の災害復旧、流失土砂による河道閉塞が問題となっている芋川流域等の砂防事業について、直轄による事業実施も含め、可能な限り支援をして欲しい旨の要請を行う
 - - 国土交通省として、国道291号の災害復旧事業を国の直轄事業として実施することを国土交通大臣指示

11月3日(水)曇りのち雨

- 09:00 道路部長他、道路部職員による国道291号の被災状況確認へり調査
- - 市町村道の被災状況調査完了
(十日町市、小千谷市、栃尾市、川口町、広神村で延べ550名)

11月4日(木)雨

- 08:57 震度5強の余震発生
- 15:25 国道17号川口町牛ヶ島、地滑りセンサーが作動し点検のため40分間全面通行止め
- - 避難者5万人を割る

11月5日(金)晴れ

- 09:00 市町村道の被災調査結果について、北陸地方整備局より関係市町村長に調査成果報告書として手渡す
- 16:00 関越自動車道、長岡～小出間、13日後に一般車両開放(50km規制)
- - 新潟県の要請により、国道291号の災害復旧・砂防事業を新潟県に代わって国が一括的かつ効率的に推進するため「中越地震復旧対策準備室」を北陸地方整備局内に設置する。

11月6日(土)曇り

- - 天皇、皇后両陛下、被災住民の激励

11月7日(日)晴れ

- - 国道291号、国道17号～山古志村役場まで地域住民に限り通行を可能とする
- - 避難者3万人を割る

11月8日(月)晴れ

- 11:15 震度5強の余震発生
- - 被災地の小中高校の全てにおいて授業再開

ドキュメント(10月23日からの道路を中心とした動き)



国道291号復旧工事に着手 山古志村竹沢(H16.11.11撮影)



国道291号復旧工事中 山古志村東竹沢
(H16.11.13撮影)



復旧が進むライフライン(小千谷市 H16.11.11撮影)
11月13日には山古志村種芋原地区で電気が復旧



11月10日再開した上越新幹線の撤去作業
(H16.11.11撮影)



11月18日 国道17号川口町牛ヶ島片側交互通行解除
(H16.11.18撮影)

ドキュメント(11月9日(火)～11月18日(木))

11月9日(火)晴れ

- 東北・関東地方整備局の応援を受け国土交通省職員(総勢90名)が、被災市町村が行う災害復旧事業に必要な現地調査や工法検討等の支援を開始(中越地区10市町村)
- 避難者2万人を割る

11月10日(水)晴れ

03:43 震度5弱の余震発生

- 長岡市内で脱線した「上越新幹線」の1号車撤去終了

11月11日(木)曇りのち雨

- 国道291号(新潟県古志郡山古志村大字東竹沢字ブナ坂～小千谷市大字小栗山字呼坂間延長約10km)の災害復旧工事を北陸地方整備局において開始する旨の「官報告示」
- 中越地震復旧対策準備室を「中越地震復旧対策室」と名称変更
- 国道291号の災害復旧の権限代行区間において工事着手
- 「道路復旧 降雪前に」を前面に、新潟県泉田知事、国土交通大臣へ32項目の要望
- 「道の相談室」の対応時間を8:30～21:00に変更

11月12日(金)曇り時々雨

- 国道291号の権限代行区間の工事に着手及び今後の計画について、坂上室長が長島山古志村村長に説明

11月13日(土)曇り時々雨

- 山古志村で最初となる種芋原地区560戸で電気復旧

11月14日(日)曇り時々雨

- 山古志村の小中学生、ヘリで上空から被災状況を確認
- 避難者、いまだに約12,000人

11月15日(月)雨

- 国道291号の復旧工事を安全・円滑に行うための「国道291号災害復旧工事関係者連絡会議」を初開催

11月16日(火)曇り時々雨

- 長岡市内で脱線した「上越新幹線」の全車両の撤去完了
- 震源地の川口町において一部を除き避難勧告解除

11月17日(水)曇り時々雨

- 国土交通省 中野大臣政務官・伊達大臣政務官が被災箇所視察

11月18日(木)曇りのち雨

06:00 国道17号川口町牛ヶ島地内の片側交互通行の規制を解除し2車線で開通



道路情報サイト


<http://www.hrr.mlit.go.jp/road/>

中越地震道路情報(携帯電話版)

<http://chokoku.jp/i/>

道路に関するお問い合わせ・ご要望は「道の相談室」へ

フリーダイヤル ドーロ ヨクナレ(道路 良くなれ)

 0120-106-497

FAX 025-265-6148

e-mail hr-michi@hrr.mlit.go.jp

土日、祝祭日を問わず、8:30～21:00の間、受付しています。

編集・発行 : 国土交通省北陸地方整備局道路部
新潟県新潟市白山浦1丁目425-2
TEL : 025-266-1171(代)